

IEEJ Industry Applications Society News Letter

電気学会産業応用部門ニュースレター 2006年6月号

電子投稿・電子査読システムについて



編修長 深尾 正



編修長補佐 竹下隆晴



電子投稿準備委員会主査
村上俊之

投稿論文の査読期間短縮と著者へのサービス向上を目指して、本年1月から電子投稿・電子査読システム（IEEJ Paper Management System）の本格運用を開始しました。全ての新規投稿論文は、電子査読システムで査読処理がなされています。従来どおり書面で投稿いただいた論文についても、電子査読システムで査読できるように、投稿者のご了解を得て論文委員会で代理登録・投稿をいたしますが、査読期間の短縮化のために、できる限り電子投稿をお願いいたします。

1. 電子投稿 電子投稿の方法としては、電気学会ホームページの「部門誌への投稿手引き」をクリックして「電気学会論文誌（部門誌）への投稿」のページを開いて下さい。ここの、「論文誌D（産業応用部門誌）へ投稿される方はこちらをご覧ください」をクリックすると、電子投稿・電子査読のトップページ（URL <http://ieej-d.sd.keio.ac.jp/>）が開きますので「個人情報の入力と登録番号の取得」（個人のIDとパスワードの取得）をしてください。投稿論文、著作権譲渡書、論文等投稿票、論文要旨（和文）、論文要旨（英文）の各pdfファイルを用意し、先に取得したIDとパスワードを用いて電子投稿・電子査読システムに入り、「論文の投稿」をクリックして、画面の指示に従って必要事項の入力と各pdfファイルの指定をして投稿が完了します。これらの手順の詳細は電子投稿・電子査読のトップページの「電気学会D部門誌への投稿はこちらの投稿要領をご参照下さい」で見ることができます。なお、お手数ですが、著作権譲渡書を電気学会事務局へ郵送していただき、著作権譲渡書が電気学会に届き次第、査読が開始されます。まずは個人登録のみで結構ですから試して下さい。

2. 電子査読 電子投稿論文は、図1の論文査読処理フローにしたがって、(1)から順番に査読処理が進められます。電子査読においても従来と同様の過程で査読が進められ、従来郵送で行われていた査読依頼および査読結果報告を、電子査読では電子メールとWebを用いて査読依頼と査読結果報告をします。したがって、査読者は、電子メールで査読依頼を受け取り、論文投稿時と同じ個人のIDとパスワードを用いて電子投稿・電子査読システムを開き、「査読者への情報」へ進み、「論文表示」をクリックして査読論文等の査読に必要情報を閲覧できます。論文査読結果として照会事項のpdfファイルを用意して、「査読者への情報」の「査読結果入力」をクリックして査読結果の各項目入力と照会事項のpdfファイルを設定して、査読を終了します。Web査読要領を含め、各種の電子投稿・電子査読に関するマニュアルは電気学会産業応用部門のホームページ（URL <http://www2.iee.or.jp/~ias/index.html>）の「電子投稿・査読システム要領」に用意していますので参考にして下さい。2名の査読結果が揃った時点で論文幹事から主査に査読結果が送られ、主査が査読判定をした後、査読結果を電子メールにて直接査読者にお送りします。主査の判定が、掲載または返送のときには、編修長が最終判定をし、従来と同様に電気学会事務局より書面にて掲載決定または返送の手続きがされます。

3. 著者への査読経過の情報提供サービス 電子投稿システムにて、著者は自分の投稿論文の査読経過をきめ細やかに知ることができます。投稿した論文の図1における事務局受付日、編修長から主査への依頼日、査読者が査読依頼を受けた日など、各査読処理日を電子投稿システムにて

リアルタイムで確認できます。

論文委員会は、会員の皆様の要求に応える論文誌づくりの1つとして敏速な情報提供を目指し、論文投稿から掲載

までの期間短縮に向けた電子投稿・電子査読を進めています。今後とも、会員の皆様のご協力・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

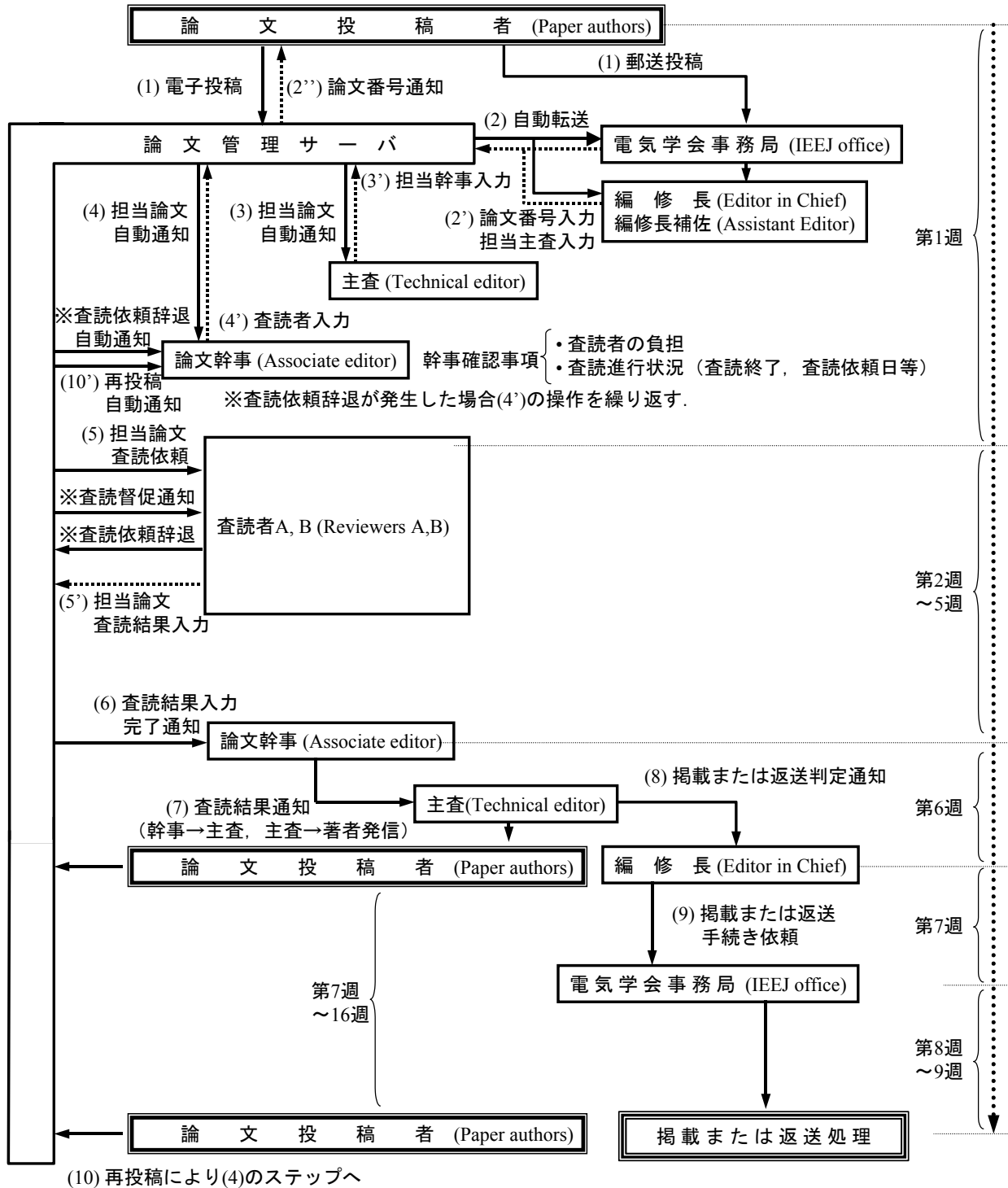


図1 論文査読処理フロー